



医療法人 さくらクリニック



訪問リハビリだより 春号

～ 生活の変化とリハビリテーションの効果 ～



【自立支援と社会参加】

何の為にリハビリを行うのか？

ただ関節可動域練習を行う、筋力訓練や歩行練習を行うのではなく、そこから**生活の変化**が生まれるのか。利用される方々が諦めてしまった事、目標と一緒に達成する為に**訪問リハビリはある**と私どもは考えています。

再び歩いて自分でトイレにいき、バスに乗って買い物にいき、昔楽しんでた趣味を再開するなど、**自立支援を促し、そこから社会参加へと繋げていきたい**と考えております。

※本紙、裏面に当訪問リハビリテーション事業所H27年ご利用の方々のADLの変化について記載してあります。

～ 事例紹介 ～



から…



そして…



車いす

押し車へ変更

お買い物へ！

◎歩行の改善と買い物が可能になった事例◎

初期評価【昨年4月中旬】

立位・移乗動作

⇒見守りレベル

トイレ時下衣更衣動作

⇒見守りレベル

移動動作

⇒車いす・歩行不可

中間評価【今年3月下旬】

立位・移乗動作

⇒**自立レベル**

トイレ時下衣更衣動作

⇒**自立レベル**

移動動作

⇒**押し車歩行可（付添い）**

＜年齢＞70代 ＜性別＞女性

＜原因疾患名＞腰椎圧迫骨折、パーキンソン症候群等

リハビリを実施し、少しずつ状態が改善していく中で、ご本人様より「歩いてお買い物にいきたい」とのご希望がきかれるようになり、それに向けて押し車歩行を練習、今では付き添いで歩行が可能になるまでに改善しました。3月中旬には**念願のお買い物にもいくことができ**、ご家族様にもとても喜んでいただいております。

※写真の掲載に関して、ご本人・ご家族の承諾を得ています。